



高浜町

議会だより

CONTENTS 3月定例会

vol.158

佐伎治（さきち）神社の桜

- ▶ TOPICS・・・P2・P3
- ▶ 常任委員会委員会報告・・・P6～9
- ▶ 一般質問 議員12名が徹底討論・・・P10～15
- ▶ 特別委員会報告・・・P16・17

令和6年度当初予算を
賛成多数で可決(P2・P3・P6・P7)

歳入歳出総額119億6183万6千円

賛成多数で可決

令和6年度 新規事業一覧

事業名	新規事業名	新規予算
スマートタウン推進事業	住宅の太陽光・蓄電池設備導入促進事業補助金	302万5千円
高浜まちづくり事業	NPO法人の活動支援事業に係る交付金	650万円
情報化推進事業	クラウド基盤構築業務	3,227万1千円
戸籍総合システム事業	戸籍システム標準化移行業務委託料	211万2千円
青葉山健康長寿の里事業	ビジター棟空調設備事業	447万8千円
郷土資料館管理運営事業	移動式エアコン設置工事	1,138万4千円
学校給食センター管理運営事業	学校給食調理等委託料	7,551万9千円

【継続費(6年度)】

- ・社会福祉施設整備事業……………17億4,563万5千円
- ・子ども子育て支援計画策定事業…389万4千円
- ・防災対策資機材整備事業……………2億6,870万8千円
(防災無線再整備工事・施工監理業務)

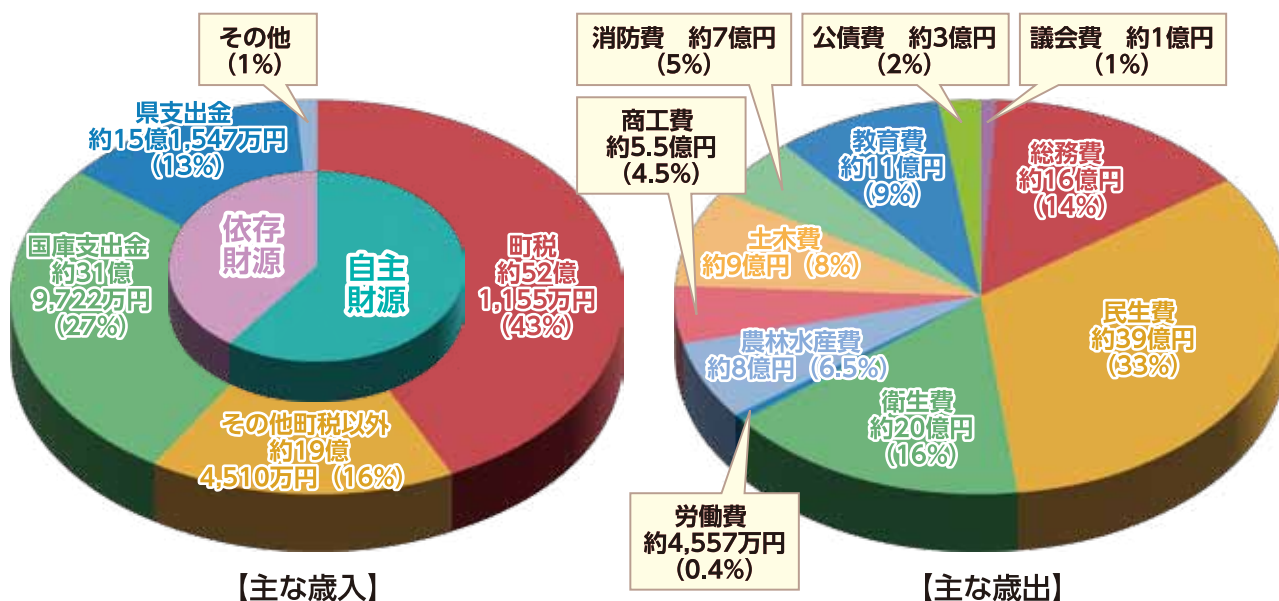


骨格予算

選挙を控えているため、新規事業を抑えた予算のこと。

継続費

数年間にわたる建設事業等で、あらかじめ経費の総額及び年割額を定め、支出するもの。



令和6年度当初予算(骨格予算)

令和6年度 特別会計予算

総額 27億5,957万7千円

- ・国民健康保険特別会計……………12億911万6千円
- ・国民健康保険診療所特別会計……1億1,650万5千円
- ・後期高齢者医療特別会計……………2億911万6千円
- ・介護保険特別会計……………11億7,992万2千円
- ・宅地分譲事業特別会計……………2,384万1千円
- ・道路用地先行取得事業特別会計…2,107万7千円



特別会計

特定の収入、特定の支出を一般会計と切り離して独立して行われる会計のこと。それぞれ使い道が決められている。

令和5年3月補正予算新規事業

事業名	新規事業名	新規事業費
水産振興事業	岩ガキ紫外線殺菌装置導入補助補助金	558万円



(河島浩彦)

岩ガキ紫外線殺菌装置を導入

令和5年度3月補正予算に、岩ガキ紫外線殺菌装置を導入する予算が計上された。

財源：県費434万円、一般財源124万円

夏期に出荷可能な新たな特産品づくりとして、令和元年より福井県と連携し実施している。目的は、イフガキの養殖試験の出口として、単価の高いイフガキの生食用出荷に向けて浄化設備を新設し、魚業所得の向上につなげるもの。

(磯部武史)



岩ガキと岩ガキ殺菌装置

3月定例会において賛否が分かれた案件

議案番号	議案名	議決結果	井上聡	河島	松岡	釣本	矢野	児玉	西野	井上順	大塚	上尾	廣瀬	井ノ元	磯部	小幡	関連ページ
【予算案件】																	
議案第10号	令和6年度高浜町一般会計予算について	賛成多数可決	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	○	×	P6
議案第36号	公有財産の取得について	賛成多数可決	○	○	○	×	○	×	○	○	/	○	○	○	○	×	P8
【発委案件】																	
発委第2号	高浜町議会委員会条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	○	○	○	/

○…賛成 ×…反対 △…棄権または退席 ▲…欠席 ※議長等採決に参加しない議員は「/」となります

3月定例会 採決一覧表はこちらからご覧ください



質疑&討論

質疑 議案第1号

■令和5年度高浜町一般会計補正予算(第7号)について

小幡憲仁議員

今年度も10億円を超える多額の予算を翌年度に繰越している。会計年度独立の原則に反するのではないか。

総務課長

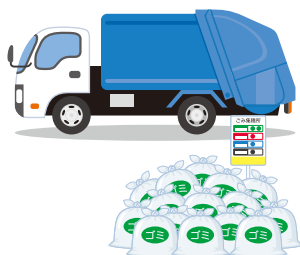
それぞれの事情で事業が年度内に完了しなかった。

小幡憲仁議員

和田地区ごみ回収拠点集約化に向けた補助制度見直しの現状を問う。

住民生活課長

補助制度の見直しについて検討中。



質疑 議案第10号

井上順也議員

新規事業「住宅の太陽光、蓄電池導入補助金」、「飼い主のいない猫の不妊手術支援」、「帯状疱疹予防接種補助金」の内容は。

保健福祉課長

帯状疱疹ワクチン接種の対象者は、令和6年度50才到達者で、生ワクチン1回5千円、不活性ワクチン2回×1万円の助成を行う。

小幡憲仁議員

歴代4番目の大型予算編成である。

骨格予算でありながら大型予算となった説明を求める。

総務課長

社会福祉施設整備など大型の継続費もあつて予算規模が膨らんだ。

小幡憲仁議員

和田球場と和田テニスコートを4月1日から閉鎖すると聞いた。これは事実か。

教育委員会事務局長

今後の使用方針を検討しているが廃止は決定していない。

討論 議案第10号

反対討論 小幡憲仁議員

町長選挙が行われる年度の当初予算は骨格予算として編成するのが町政の常道。しかるに新年度予算は歴代4番目となる大規模予算編成である。

改選後の町長が判断すべき事業が多く予算計上されており骨格予算となっていない。

賛成討論 釣本音次議員

民生費の(仮称)高浜町社会福祉施設の建築事業の工事請負費については、談合の疑念と設計価格変更のプロセスに疑念があると考えしており、この事業には賛成できないが、全体としては賛成する。

賛成討論 西野朋宏議員

能登半島地震発生の際は、町長・三役をはじめとする役場職員の迅速な対応を非常に評価する。住民アンケート調査結果を今後に生かし、引き続き町の安心・安全に尽力願う。

賛成討論 井上順也議員

個別事業の費用対効果について

見直す時期が来ていると考えるものもあり、慎重な予算執行を指摘し賛成とする。

賛成討論 井上聡美議員

投資的経費には、大型事業の継続もあるが、国や県からの補助金を充てている。

生活に密着した事業やきめ細やかな部分も予算化され、生活向上に繋がる予算である。

賛成討論 松岡茂和議員

重要な当初予算であり賛成の立場だが、骨格予算と思えない大型予算が組まれている。

行政として運用上重要なもの以外の事業経費の執行は、6月以降に費用対効果を考慮し有効な執行に努められたい。

討論 議案第36号

反対討論 釣本音次議員

蘭部の松林は、高浜町誌によれば1300年前には存在し、歴史遺産であり景観も良く、後世に継承すべきものである。

ぜひ議会
傍聴に
お越し
ください!

Takahama Town Parliament Regular Meeting

高浜町議会

6月
定例会



- 本会議はチャンネルOにてライブ配信中です!
- 議会日程については高浜町HPに掲載しております。
- 次回定例会は6月4日(火)開会予定です。

どなたでも視聴いただけます!皆様のご意見をお待ちしております!

お問い合わせ

高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710

<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>



予算決算

常任委員会報告

委員長 井ノ元康夫

継続事業で大型予算に質疑多数

◇3月11日(月)～13日(水)

■令和5年度高浜町

一般会計補正予算(第7号)

【総務費】

Q 防犯カメラ設置事業補助金について、予算200万円から減額された理由は。

A ごみ集積場の不法投棄や夜間の防犯対策での設置要望が多かったため、20基、200万円の予算計上であったが、実際は、5基の実施により減額した。

【民生費】

Q 介護職員初任者研修受講料補助事業について、減った人数は。

A 当初予算では15名の予定をしたが、実際には6名の受講となり、不用額として11万5千円を減額した。

【衛生費】

Q ゴミ回収拠点整備事業補助金の件数と内容について。

A 当初予算では100万円を計上し、6月の補正で220万円が加算された。

しかし、今回は210万円を減額とした。

令和5年度には3件の申請があり、そのうちの二つは拠点の改修更新で45万円、残り2件は改修で10万円と10万円未満の補助で、合わせて62万4千円の補助を支給した。

今後は申請が見込まれないため、不用額を減額した。

【労働費】

Q 雇用・労働促進対策事業について、中小企業事業継続応援補助金の減額理由は。

A 中小企業の人材確保の推進事業補助金と中小企業の継続応援補助

助金が対象で、人材確保補助金では、10件を予定していたが、4件の支援完了と、4件の見込みから残りの2件、20万円が不要となり減額した。継続応援補助金では、2年間で20件を想定していたが、結果10件であったため700万円を減額した。

【農林水産業費】

Q 新規事業の岩ガキ紫外線殺菌装置導入補助金について、県内市町も同じ負担割合なのか。

また水産試験場の種苗の配布試験栽培状況と生育状況は。

A 負担割合については、他の市町と同様であり、種苗の生産が一定、確立されるまでは、配布する予定であると確認している。

岩ガキのブランド化や販売ルートについては、高浜漁連が取り組んでおり、高浜でのブランド化や流通を目指している。

質やサイズに関しては、高浜の岩ガキは早く育つ特性があり、2年での出荷サイズになっている。

【教育費】

Q 学校給食事業運営基金について、施設の進捗状況は。

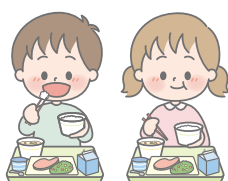
A 学校給食施設の建設については、順調に進んでいるものの、元日の能登地震や大阪万博により一部資材の入手が遅れており、完成が2週間～3週間ほど遅れる可能性があるが、2学期の給食からのスタートに問題はない。

質疑を終了し討論はなく

【全員賛成で可決】



建設中の学校給食施設



■令和6年度高浜町一般会計予算

【新規事業】

Q 情報化推進事業について詳細説明と業務に支障はないのか。

A LGWAN接続系環境からインターネット上のクラウドサービスに、安全に接続できる環境を構築するもので、令和8年度中にマイクロソフト365のクラウド基盤に集約する。

また、業務の支障については、職員への端末貸与や有線LANケーブルの無線LANへの更新、さらにはWindows10のサポート終了に備えてマイクロソフト365への移行を計画している。

【農林水産業費】

Q 薬草生産栽培推進委託料1067万7千円について。

A 実証栽培業務や栽培データの管理、新規生産者の拡大や販路開拓などに使用されるものであり、具体的には町内9500㎡の圃場で、シンやミシマサイコ、ヤマトトウキ、シヤクヤク、ムラサキの5品目を栽培している。

【商工費】

Q 観光施設管理事業、城山公園遊具設置工事476万3千円について、どのような遊具をいつから設置されるのか。また花見エリアは。

A 遊具については、ロープウェイ1基で新年度に入ってから進める予定であり、再整備には時間を要し、有効利用を図るため、公園内の遊具は撤去や処分ではなく移設や再利用を考えている。

また樹木については、いくつかの伐採や植え替えを行っており、区長会などと協議しながら必要な対応を行っている。

【土木費】

Q 和田地区雨水対策事業1654万4千円について、今後の事業計画、年度ごとの事業費は。

A 令和6年度の計上額は1654万4千円で、浸水想定区域図の作成業務や下水事業計画の変更申請業務などが含まれている。

今後の計画では、和田公民館周辺や安土の体育館前などの冠水が起こりやすいエリアに排水路を設定し、詳細設計業務を進める。

工事費は令和7年度から令和10

年度まで段階的に計上され、総事業費は9億5千万円とされているが、国の指示に基づき見直しを行ない、設計変更があり遅れている。

【消防費】

Q 防災対策資機材整備事業、2億7453万5千円について。

A 令和5年度に導入された防災アプリの運用にかかる手数料として、147万4千円が新年度に予算計上されている。

防災アプリの「高浜情報ナビ」は試験運用段階であり、2月末から町民に周知が開始され、3月現在で約585件のダウンロードが行われている。

アプリは防災に特化せず、日常的にも利用されるよう設計されており、緊急時には「アラート」に切り替わる。

【教育費】

Q 中学校施設整備事業、222万5千円について移動空調機の運用方法は。

A 高浜中学校における熱中症対策として、移動式のスポットクーラーを導入する計画で、具体的には、柔剣道場に2台、アリーナに4台の

計6台の導入を検討している。今年の夏には応急的な対策として、移動式の空調機を導入して熱中症対策を行う予定である。

熱中症警戒アラートが発令されると体育活動や部活動が中止される方針であり、移動式の空調機導入によってアラートレベルの日数が減少し、授業や部活動に与える影響を軽減することを期待している。

【賛成多数で可決】



移動式空調機



総務産業

常任委員会報告

委員長 磯部 武史

当委員会に付託された
全18議案を慎重審議

◇3月14日(木)

■令和6年度高浜町宅地分譲事業特別会計予算

Q 蘭部から坂田グリーンタウンに抜ける道、また子生へ行く道を拡幅して、防災面、また居住者の利便性を含めて考えていくべきでは。

A 坂田グリーンタウン、子生のほうからもうそういう要望がある。今後、圃場整備が進んでいくと、土地利用の中で地元とも調整しながら検討したい。

■令和6年度高浜町水道事業特別会計

Q 震災が起きて上下水道の大切さ、特に上水道センターの更新で大きな費用がかかってくる。

震災に強い上下水とか、その水の供給を安心安全にしていくなため、どのくらいの本気度があるのか。

A 地震における管路の耐震化、上水道センターの強化・耐震化、緊急時でも、上水道センターからの水の供給は確保できる。非常に重要な部分というのが露見された。上水道センターの更新には数十億円。そういうオーダーの中で、更新工事が必要になってくるので、国庫補助金であったり、計画の中での基金の積み立てであったり、そういうところを計画し安全な状態で確実に新しい上水道センターにバトンタッチをする準備を現在も行っているところである。

一方、管路についても妙見山に上がる配水池においての一定の強化はもう既にできているが、そこから各地域への配水管について、部分的に耐震化というところにおいて心配なところがあるため、管路の強化を計画的に図っていく。

【全員賛成で可決】

■公有財産の取得

Q 蘭部区の区有地ということで、この売却に際して、蘭部区も毎年の管理が大変だという声も多く聞いている。

これは公有財産になるということであるが、これからの管理はどうなるのか。

A 説明会するときにもそのあたりをどうするかということで、蘭部区長や区民の方からも御意見をいただいております。地元の協力体制というのは継続してやっていただきたいということは、こちらもお話している。

一年中というよりは、年に3回がいいのか、2回がいいのかなど、まだ今のところは確実にこれというのは決まっていない。

Q 白浜アウトドア構想計画区域の中で、特に区有地の松の状態が一番ひどい。この松を今後どうしていくのか。

青の松原計画にも係るかもしれないが、白浜アウトドア計画がどうなるかはさておき、松林の在り方としてどのような考えを持っているのか。

A 松に関しては、青の松原健全化



蘭部区の松林

計画に基づき調査しており、枯れて倒れそうな危ない木については、計画を持って伐採もしている。

また、寿命を延ばすという観点で、調査結果が出ており、それに基づいて樹幹注入もやっております。続いて計画の中でしっかり松の対策はしていきたい。

【賛成多数で可決】

委員会審査終了後、公有財産の取得にかかる蘭部区の区有地と、改修工事が終わった緑ヶ丘団地を現地視察した。

令和6年度特別会計予算、条例改正案 など21件を慎重審議

◇3月15日(金)

〔令和5年度補正予算〕

■高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)

Q 医療材料費における350万円減額の内容は何か。

A 診療による医薬品の材料費が使われなかったための減額である。

■高浜町介護保険特別会計補正予算(第3号)

Q 介護保険の全体的な状況把握と、予算編成上の基金取り崩し等の計画の見通しは持っているのか。

A 最大分での見通しを立て、基金取り崩し等の計画を策定している。

その他審議した議案

■高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

■高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

〔令和6年度予算〕

■高浜町国民健康保険特別会計予算

Q 人間ドックの助成の変更点は。

A 受診機関や日程等は自由に決めたいただけるように変更した。県外の医療機関でも可能であり、多くの方に受診していただきたく、助成枠を10名から20名に変更した。

【人間ドック等助成事業】

ドックの種類	助成額	助成人数
1日	29,500円	20人
2日	41,000円	5人
脳	29,000円	15人

■高浜町国民健康保険

診療所特別会計予算

Q 予算の約4割が繰入れ。診療所の採算として、実質的赤字の部分は減らす努力が必要では。

A 人件費が主な原因である。削減できるところは、削減していく。

その他審議した議案

■高浜町後期高齢者医療特別会計予算

■高浜町介護保険特別会計予算

〔条例の制定・改正〕

■学校給食の実施に関する条例の制定

Q 給食費の単価が安いのでは。

A 無償化以降、2回値上げを実施している。地元食材を使うケースが増えており、牛乳のさらなる値上げなど、今後の動向も見ながら、補正予算も検討していく必要がある。

■高浜町立衛生センター設置及び管理条例を廃止する条例

Q 平成25年にせせらぎランドの浄化センターが供用開始となったが、今まで条例を残し、この時期に条例廃止を提案される理由は。

A バックアップ機能として今日まで残す判断だったが、今回有効活用を図ることとした。

■ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

Q 対象外だった後期高齢者保険加入者が追加となった理由は。

A 養育者となる可能性がゼロではないため、改正させていただきたい。

その他審議した議案

■高浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
他関連条例3件



〔指定管理者の指定〕

■高浜町老人憩いの家の指定管理者の指定

■高浜町社会福祉センターの指定管理者の指定

■高浜町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定

〔規約の廃止〕

■小浜市と高浜町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の廃止について

■おい町と高浜町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の廃止について

〔全議案ともに全員賛成で可決〕



磯部 武史 議員

内浦のトンネル、携帯電話不感対策の進捗はどうか

防災安全課長

一歩前進した。県や立地自治体と連携し推進していく。

問 トンネル部分の携帯電話不感問題に対して国の直轄の範囲が拡大され、緊急輸送道路の道路トンネルとして原子力災害制圧道路のトンネルが含まれると連絡があった。今後の見通しはどうか。

伴うコンベンション機能など、時代のニーズ変化を意識しながら、内容や手法の検討を進める段階に来ている。白浜エリアの説明会では、適正な維持管理、自然景観の保全、また常用樹の検討など、自然環境への配慮。また民宿や浜茶屋など、周辺商業に及ぼす不安と、その反面の波及効果への期待など、構想に対する前向きな意見をいただいた。

防災 国の電波遮蔽対策事業において、議員の言われる通り進展があった。この事業の進む入り口が一歩見えた。

◆シーサイドライン構想について

問 城山エリアは、城山荘の再整備、城山公園の再整備、ボート会館も老朽化している。今後どのように進めていくのか。

白浜エリアについて、蘭部区で説明会があったが、構想に対してどのような意見があったのか。若宮エリアでは、止まっている道路を国道27号まで延伸すると聞く。また、道路の規格は止まっている道路と同様に2車線とするのか。

産振 城山エリアの再整備は、城山荘が担ってきた宿泊機能と飲食を



難波江トンネル

若宮エリアは、この路線の道路構成としては、延長が570メートル、車道の幅員が3メートルの2車線。歩道幅員が3.5メートルの両側歩道の設置、また無電柱化の計画としている。



西野 朋宏 議員

能登半島地震の支援の状況

防災安全課長

姉妹都市の志賀町や珠洲市、七尾市への給水支援活動に参加中

問 能登半島地震津波警報時の町民避難状況は？

防災 アンケート調査から、今回の地震で453世帯1791名が避難したという回答。

これに対し、町長・三役以下役場職員91名で緊急対応を実施。今後、ハード・ソフト両面から町民の安全・安心の確保に再度取り組む。

問 能登半島地震での被災地支援状況は？

防災 姉妹都市である石川県志賀町へは、災害発生翌日の当町への聞き取り後、給水車両の派遣及び支援物資の搬送を実施。

それ以外にも、珠洲市・七尾市において避難所運営等のため職員派遣を実施。その中で、地域のつながりが地域防災力の向上につながると認識した。

今後、町の防災機能の強化に取り組む。



能登半島地震の支援の状況

原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります

◆コンベンション機能がない高浜町をどうする



問 公民館・文化会館は原則アルコールなどの飲食は禁止だが、場合によっては可能にしてもよいのでは。

教育 社会教育施設であるが、文部省も柔軟に判断していく考え方を示した。地域の活性化や交流の拡大に寄与するものであれば、アルコールなどの飲食が伴うものであっても差し支えない。事前に相談してほしい。



【独り言】身の危険を知らせて助けを呼ぼう

保健 令和6年4月から無償化にする。併せて、SIMカードを内蔵し、携帯電話で会話する新たな緊急通報サービスも選択できるようになる。

問 設置費用6600円の無料検討は怎么样了か。実施時期は。(令和5年9月「一般質問」)

◆高齢者福祉サービス「緊急通報装置」の設置・利用の拡大



井上 聡美 議員

検討の結果、怎么样了か?!



◆和田球場の今後の在り方

(令和5年12月「一般質問」)

問 スポーツ推進審議会で、どのような方向性になったのか。

教育 球場機能の改善要望の声があつたが、改修に踏み込む考えはない。除草の回数を増やし、改めてニーズを見極めたい。

町長 審議会や議会だけでなく、若い世代など幅広い意見を聞いた中で方向性を考えるのが、一番公平的。

施設名	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	合計
和田球場	18	30	21	19	28	12	5	2	6	6	147 (19.6%)
中央球場	105	136	114	152	95	101	48	76	72	89	988 (37.5%)
青葉総合公園 (球場)	172	126	123	135	130	128	143	191	208	143	1,499 (56.9%)
合 計	295	292	258	306	253	241	196	269	286	238	2,634 (100.0%)

問 上水道センター更新計画を確実に進めるには、財源確保が企業会計としては困難な状況だが、町としての支援は。

上水 重要なライフラインである上下水道施設、管路の耐震対策は。公共下水道施設については、耐震診断を行い現在実施中の長寿管化工事と併せて計画的に進める。管路は、阪神大震災以降の基準による整備で耐震化率約64%で現在、老朽化の修繕を優先しているが、重要幹線から計画的に耐震化を推進していきたい。

町長 水道会計で水道料金の若干の見直し、積立金、起債、借入金、一般会計からの支援。そして、国交省以外にも各省庁の補助金を視野に入れて、財源確保に努めたい。



上尾 徳郎 議員

上下水道課長
令和14年度の供用開始を目指して、基本計画を財源も含め再検討中
上水道センター更新計画の進捗状況は

その他の質問

「緑の基本計画」観光振興施策、市街地整備施策の公園整備について



配水池への送水管



更新計画中の上水道センター



廣瀬 とし子 議員

水道山の道路管理について

建設整備課長

定期的に点検・パトロール、路面の劣化状況を含めて適正に努める

問 道路側溝に枯葉が詰まり雨が降ると道路勾配のため住宅側に雨水が流れる。

地盤も緩み、土砂崩れが発生しないか区民の方が心配されている。住宅側に雨水が流れないように早急に対策を考えてはどうか。

建設 今後事故が発生しないようパトロールが必要である。

山側のほうの側溝が全部落ち葉で詰まっている。

早急に撤去していきたいと考えている。

これから夏の梅雨時期を迎え、大雨が降るので、できればそれまでにすべて路面清掃、舗装の補修等含め側溝清掃等やっていきたいと考えている。



水道山の道路

◆高浜中学校への自転車通学について
問 学校まで送迎をされている保護者が多く見受けられる。

学校前は道路が狭く混雑し、また工事関係の車両も出入りしている。自転車通学の生徒を見ていると、台風、雨風、雪等で大変だと思う。

学校まで距離もあり、道路の狭所も何か所もある。安全を守るために冬季だけでもバスを出してはどうか伺う。

教育 通学する区間が長くなり、それに対する安全を心配する声などがありました。

複数のバス会社に対して登下校時の送迎用バス運行の相談を持ち掛けてみましたが、運転手が不足する中で、登下校の時間帯に限定して運行に割ける運転手の確保は難しいということであります。送迎バスの運行に関しては今後の課題として検討していきたい。



松岡 茂和 議員

能登半島地震を受けた防災力の強化を求める

町長

行政が対応できるものを優先順位をつけ段階的に強化を図りたい

問 地震、津波火災、原子力災害や夜間等あらゆる複合災害を想定した対策を図りたい。

防災 高浜町地域防災計画をマニュアル化し運用しているが更に想定されるケースについて更新を進める。

問 津波避難個所の確保と簡易トイレ、非常用備品保管庫整備を求める。

防災 津波緊急避難は5m以上の高台として、中央体育館、佐伎治神社、安土山公園、馬居寺などを指定している。今回寒中の避難で毛布やトイレ対策が課題と認識している。



R6.1.1 安土山避難状況

問 住宅耐震化補助金や倒壊危険ブロック擁壁改修補助金の増額を。

防災 近隣市町の水準を確保しており、今後の社会経済の動向を見ながら検討をしたい。

問 使用済み核燃料乾式貯蔵施設の課題と受け入れ判断と対応は。

町長 この施設の設置許可の事前了解願いが関西電力から出されたが昨年10月の使用済み燃料対策推進計画で策定されたロードマップでは乾式キャスク保管で全体の貯蔵容量は増やさないと明記されている。キャスクの安全性は高いと認められており、科学的な観点から乾式貯蔵施設併用は理に適っていると思う。中間貯蔵バツクフエンド最終処分等が不確定だらけであることから、国、関西電力にロードマップをしっかりと守っていただくよう強く求めるとともにシナリオになることの起きる可能性についても覚悟をもつて臨んでいただきたい。

その他の質問

白浜アウトドアについて

原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります



児玉 千明 議員

高浜町の保育の質について

こども未来課長

選ばれる保育を目指す

問 R4より導入された保育環境ス
ケールの成果は。

こども 数ポイントアップしていて成果
を感じている。

問 広域入所(町外私立幼稚園)の
数が増加傾向であるが、高浜町
の保育が選ばれていないという数字
ではないか。

こども 保護者の勤務状況もあるが、私
立保育園を選ぶ数は増加傾向で
ある。

問 「高浜町の保育の質が低い」と
いった厳しいご意見もある。高
浜町で預けたいと思われるような特
色を出した教育を行っていくべきで
ないか。

こども 私立レベルの内容は難しいが、
選ばれる保育を目指していきたい。

教育は投資であり、人口減が
進む中、支える側の強度を上げ
る必要がある。今後も注力し
ていきたい。



その他の質問

「野瀬町政4期16年前の想いと今」

問 16年前思い描いたゴール地点と
今では、どのくらいの差異があ
るか。

町長 4期すると思っていなかった、環
境も変化した。

問 16年前自身は多選批判をしてい
たが。

町長 エラーもあるが支援者の想いも
ある。

初心を思い返して取り
組んでいきたい。



小幡 憲仁 議員

6次産業施設「UMIKARA」の 運営状況を問う

産業振興課長

来客数はほぼ目標を達成したが、
売上は当初目標の6割程度である

問 6次産業施設「UMIKARA」
の現状を懸念する町民の声が多
い。運営状況の目標の達成状況はど
うか。

産振 売上は当初目標の6割程度。コ
ロナ禍が影響した。来客数はほ
ぼ目標を達成している。

◆第三セクターの現状について

問 三セクへの町貸付金は町長と三
セク代表(町長)間の同じ人物に
よる契約で利益相反に該当し無効で
は。

総政 利益相反であるが議会議決して
おり契約は有効と判断。

問 今年度の三セク収支見込みは。

総政 昨年10月に福井和郷に業務委託。
年度通した収支は1160万円
の赤字見込み。

◆白浜アウトドア計画について

問 白浜アウトドア計画では蘭部区
有地の他に旧旅館施設などの取

得も計画している。この計画に既に3
千万円近い税金を投入しており、取
得価格や改修費用、インフラ整備な
ど全体の費用を示すべきではないか。
産振 個人所有物件であり答弁控える。
概算費用も不確定要素があり金
額を算出していない。

問 白浜アウトドア計画は特定業者
とサウンディング(民間からの情
報収集)したとのことだがどの業者が
正式なサウンディングによる市場調
査のやり方に反していないか。

産振 正式なサウンディングではない。
業者名は答弁控える。



運営状況が議論になったUMIKARA



井上 順也議員

地震、防災上の、野原港高浜線や藪部く坂田、子生線の道路などの整備の考えは

町長

上瀬に向かう脆弱な野原港高浜線に、安全対策交付金7億円を入れて改善を行う

◆地震、津波災害の備えの充実について

問 地震、防災上の、野原港高浜線や藪部く坂田、子生線の道路などの整備の考えは。

町長 県道の野原港高浜線が非常に脆弱。上瀬に向かう道で、その安全対策交付金が交付される。福井県の14億円の内、県が使う7億円分は、全て全額野原港高浜線に入れる。藪部く坂田、子生線の道路などの整備は、認識している。屋内退避についても、民間施設利用の協定も検討していく。



柿ヶ渡新線

◆和田保育所の老朽化対策について

問 和田保育所は建設後、40年以上経過しており、遊戯室の床板な

ど老朽化が著しい、早急な改修、改善ができないか。

こども 遊戯場床の研磨修繕、2階テラスの部分の人工芝の敷設修繕による転倒事故防止対策を予算計上した。その他、緊急修繕用の予算も見ている、アコーデオンドアのゴムキップ等の安全対策を施すなど、また2階への通路の窓のパッキンの取り替え等を実施していく。

町長 保育所更新までのつなぎの措置として、改修を探る。

◆小学校の環境改善について

問 校内電気使用量が増えるのを防ぐために、エアコンを切る等大変に苦労している。子どもたちの教育環境、衛生環境を確保するため、必要な換気時の暑さ、寒さによる健康被害を予防し、授業の集中力を高めるために、デマンド契約(最大使用電力)の弾力化ができないか。

教育 使用電力量を超え、警告アラームが発報するたびに空調の入り切りを強いられる状況は改善する。



井ノ元 康夫議員

人口減少と高齢化が進む農業政策は

産業振興課長

耕作の環境の改善や担い手の育成など、営農が持続されるよう努めて行く

◆高浜町の農業政策について

問 町内では人口減少と高齢化が進み農業に関わらず、高齢化、後継者不足は重要な問題で、課題は山積している。町内の水稲における状況と今後の「地域計画」を含め、次の事を問う。

①町内の水田面積の内、耕作面積はどれくらいあるのか。
②収穫量の前年度比はどれくらいなのか。

③物価の高騰対策や米価下落支援施策の状況は。

④気候変動による今後の水稲における政策は。

⑤機械補助状況について。

⑥大型施設園芸の状況と今後の方針は。

産振 ①町内の水田面積は約396ヘクタールであり、そのうち令和5年に耕作された面積は主食用米が約173ヘクタール、飼料用米が約9ヘクタール、水稲以外の作物が約26ヘクタールとなった。②令和5年の水稲収穫量は前年比で若干減少し、夏

場の高温が品質低下に影響した。JAへの出荷分の二等米比率も低下している。③高騰する肥料や資材の経営圧迫に対処するため、農業肥料等高騰対策支援事業として補助金を実施。肥料等高騰対策支援や水稲生産緊急支援で補助を行っている。④気候変動への対策として、猛暑対策を主に行い、県との連携で自動給水栓やセンサーなどの補助事業を実施して行く。⑤農業機械の更新に関する補助金や大型施設園芸の支援も行い、農家や事業者の経営支援に努める。

⑥「地域計画」については町全体を15地区程度想定し現在8地区において協議を進めている。年度内の計画策定を進めて行きたい。

農業を取り巻く環境は、高齢化や後継者不足、米価の低迷に物価の高騰など、営農を継続する上で大変厳しい状況となっており、今後も圃場の整備による耕作の環境の改善や担い手の育成など、営農が持続されるよう努めて行く。

原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります



釣本 音次 議員

確認するが高浜町には高レベル
放射性廃棄物最終処分地を造らないね

町長
……（うなづく）

問 原発を動かせば使用済燃料が生じ再処理すれば再利用できるウランとプルトニウム、それと高レベル放射性廃棄物（核のゴミ）が生じる。この核のゴミは人体に約10万年間悪影響を与えるリスクがある。高浜町を核のゴミの最終処分地とすべきでない。

町長 原発を動かさなければ核のゴミは生じないから原発を動かさず関電には使用済燃料、核のゴミを処分する義務があるのでは。

町長 高浜町に核のゴミの最終処分地を造るという事は言った事はないが、町民にも知る必要はあり関電には義務がある。

問 確認するが高浜町には高レベル放射性廃棄物最終処分地を造らないね。

町長 ……（うなづく）



町長に確認し町長の意思表示（うなづく）がありこれで法的には高浜町には高レベル放射性廃棄物最終処分地を造らないと公約した事になる。



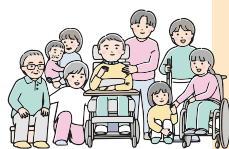
河島 浩彦 議員

インクルーシブ教育に対する
考え方と、今後の取組みは

インクルーシブも含めた特別支援教育的な
視点が必要。研修の充実を図る

インクルーシブ教育

インクルーシブ教育とは、障がいのあるにかかわらず、すべての子どもが共に学ぶ仕組みのこと。誰もが排除や分離されることなく、必要な支援を受けながら通常の学級で過ごすことを目的としています。



問 高浜町の教育現場では、児童生徒に合わせて柔軟な支援を行って来たと感じるが、現在の状況は。

教育 合理的配慮の点で、個別指導の出来る指導員、スクールカウンセラー、特別支援講師といった専門人材を配置している。設備面では、車椅子対応の施設整備を図ってきた。

子供の特性は様々であり、発達に
応じたニーズの変化もある。
変化を見逃さず、何が最も必要か
を見極めていきたい。

問 インクルーシブ教育システムの構築は、共生社会を目指す為にも積極的に取り組む課題ではないか。

教育 インクルーシブ教育の考え方は
今後は必要であると認識してい
る。

しかし、この教育を支えるには、インクルーシブの考え方と、特別支援教育とは何かを、教員が十二分に理解しておくことが大前提であると感じており、これらを含めた人材が不足している。今すぐ変えることは難しい。

教育長 学校現場で定着していくには、
教員の役割、責任が非常に大き
いものであると感じる。

支援や配慮のあり方を議論する校
内支援会議や、障害児理解をテーマ
とした人権研修の場で教員のスキル
アップを図っていきたい。

町としては誰ひとり取り残されな
い教育を目指していきたい。

その他の質問

高浜町の人材育成の現状について

原子力対策

特別委員会報告

委員長 上尾 徳郎

高浜発電所の現況報告と使用済燃料乾式貯蔵施設設置計画の事前了解願を確認

◇3月13日(水)

◆高浜発電所の状況等

説明者・木島高浜発電所所長

■高浜発電所の現況と今後の予定

現在、1・2・3号機は稼動中。

4号機は定期検査中で、3週間ほど検査を延期し4月26日発電開始の予定。1号機が6月2日、2号機が11月、3号機は来年1月頃に定期検査に入る予定。

■1号機の蒸気漏れに

関する原因と対策

B給水ブースタポンプ入り口配管(2次系)の一部からわずかな蒸気漏れを確認。点検等を実施し、架台梁復旧作業においてベント管頂部と架台梁との隙間が十分確保できず熱伸びにより接触する状態となり、Bポンプ運転に伴い傷がベント管の外表面に発生、徐々に進展し貫通に至

り蒸気漏れが発生したと推定。

損傷したベント管を取り換え、架台梁の形状を変更。高温状態の配管などが熱伸びで周辺機器に接触しないか確認する。

■4号機の蒸気発生器(SG)

伝熱管損傷の原因と対策

伝熱管全数の過流深傷検査で4本から減肉と見られる信号指示が認められた。

これ迄の事例と同様の細管にこびりついていた酸化物(スケール)に伝熱管が繰り返し接触し発生した摩擦減肉と推定。

小型高圧洗浄装置の改良等によるSG内の洗浄の強化。傷が認められた伝熱管4本を施栓。SGの取り換えを計画。

◆使用済燃料乾式貯蔵施設設置計画の事前了解願について

説明者・原子力事業本部

井岡原子燃料部門専任部長

美浜・高浜・大飯発電所について、使用済燃料乾式貯蔵施設設置計画を決定し、高浜町及び福井県との安全協定に基づき、事前了解願を2月8日に提出した。

■使用済燃料

乾式貯蔵施設設置の概要

発電所からの将来の搬出に備えて、使用済燃料の乾式貯蔵施設を設置する。施設的设计は、輸送貯蔵兼用キャスクに衝撃吸収カバーを取り付け、地震時に転倒しにくい横向きで架台に乗せ、基礎等には固定せず保管する個別格納方式を採用。

■輸送・貯蔵兼用キャスクの概要

キャスクの除熱機能、閉じ込め機能、遮蔽機能、臨界防止機能、自然現象等に対する堅牢性についてなど、安全機能の詳細説明を受けて確認。

■乾式貯蔵施設の容量、設置位置等

容量は、中間貯蔵施設への輸送船の年間輸送可能量を各発電所合計の容量(約700t)を各発電所の

使用済燃料発生量に依じて按分する。高浜発電所第一期(最大22基、約240t)第二期(最大10基、約110t)の2か所。

原子炉設置変更許可申請は、高浜発電所第一期分二箇所を先行申請し、残りの高浜第二期分他各発電所の申請は安全審査での議論を適切に反映し申請する。

その他、使用済燃料を乾式貯蔵施設に移し替えて空いた貯蔵プールは、原則使わない。

乾式貯蔵施設に保管する使用済燃料は、中間貯蔵施設設置後速やかに中間貯蔵施設へ搬出する。

今後、乾式貯蔵施設の必要性や安全性などについて、丁寧な説明をしていく。などを確認。

Q 乾式貯蔵についてはこれまで要望してきたが、今回急な了解願が出されたが安全に対する住民説明が不足するのでは。

A 今回は、国への申請了承を願う段階であり、国の審査後、結果を踏まえて最終判断する2段階方式である。

町民への説明は現在、様々な方法

で鋭意進めているが、今後とも継続的に地道に取り組む。

Q 使用済燃料ロードマップを堅持し、安心のためにも貯蔵期間を明言してほしい。

A ロードマップに示している、六ヶ所への搬出、中間貯蔵施設への搬出、併せて海外・仏国への搬出を確実に、行い不安をなくす。

Q 貯蔵プールの空きスペースは原則使用しないが、例外があると聞いたが例外とは。

A 国内外の情勢変化や自然災害等、自社の事由によらない事象により搬出が滞り、日本全体のエネルギー安定供給に貢献できなくなる可能性がある場合。

その他質疑の後、議員全員に事前了解への意見聞き取りを行い、その会議記録をもって町長に議会報告とした。



議会改革調査

特別委員会報告

委員長

児玉千明

活動の成果まとまる。中間報告へ

令和5年5月から新たなメンバーで始まった議会改革調査特別委員会。毎月1回以上の委員会開催（他PT活動）、議員と語ろう会の開催など、さまざまな取り組みを行ってきた。ある一定の調査検討結果がまとまったので、予定通り委員会中間報告を議会最終日に行った。

◆高浜町議会基本条例PT

基本条例PTでは、議会基本条例で規定された議会運営の実効性を高めるために、調査と条文に則したルール制定、議会基本条例研修のための研修資料作成等の活動を行ってきた。

議会運営のルールは本来、議会運営委員会の所管であるが、スピードアップをはかるため、ルール（案）の作成を行い、依頼書という形で議会運営委員会に提出。

また、当委員会做起案するものも

あり、それらすべてPT報告にまとめるとする。



基本条例PT報告書

◆議員定数、報酬、通年議会PT

【議員定数】

前期議会運営委員会では「現状定数14人が妥当」という結論であった。しかし、昨年の高浜町議会選挙での無投票の結果も踏まえ、135名の町民アンケート（任意10代〜90代）の実施、人口動態や前回定数改定時の1人あたりの人口調査、定数減における議会運営のシミュレーション等を行い、「1ないし2削減が望ましい」を委員会での結論とした。

【議員報酬】

アンケート調査も踏まえながら、全国類似55自治体、県内自治体との比較、5か月にわたる議員の活動日数調査、特別職である町長の活動

日数調査を行い、比較式を用いて算出した月額37・8万円が妥当との委員会結論に至った。

【通年議会】

議会改革の一環として閉会中の専決処分を減らし、議会の監視機関としての責務を果たすため、また、報酬増とあわせ「みあった活動」を果たすためにも導入していくべきという結論。今後、理事者側との意見交換も踏まえ、取り組んでいく必要がある。



定数・報酬通年議会PT報告書

中間報告を行うにあたり、議会内では、するべきでないといった難色のご意見も頂いたが、本会議では意義なく実施することができた。

当委員会の目的である「高浜町が持続可能な地域社会を構築し住民の福祉の増進を図ること」を達成するためにも、今後も町民の意見又は社会情勢の変化に応じた議会運営、議会機能の改革に持続的に取り組んでいく必要がある。これからも議会改革調査特別委員会の取り組みは続く。

嶺南広域行政組合議会

代表議員 松岡 茂 和

令和5年3回定例会

嶺南広域行政組合議会報告

◇12月22日(金)

敦賀市立図書館3階会議室

午後1時30分

全員協議会が開催され、本議会の議事日程、提案議題の事務局説明終了後、午後2時から本会議が開催された。

管理者、米澤光治敦賀市長から提案理由の説明後、議案審議が行われた。

■令和4年度 嶺南広域行政組合

一般会計歳入歳出決算認定

歳入総額14億7546万6973円となり、歳出総額14億7372万6639円、差引額174万334円となり前年度との比較は、歳入が4億5247万8738円の減少▼23・5%
歳出が4億5247万7674円の減少▼23・5%

財政収支状況は、一般会計歳入歳



北陸新幹線 敦賀駅延伸

【全員賛成で認定】

出差引額が174万334円となり翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支も同額である。

嶺南広域行政組合は、嶺南地域の振興と発展を図るための公共交通機関の利用促進や、地域の活性化に資する事業の実施と基金の積み立てを行っている。

令和4年度末基金残額は嶺南鉄道整備促進基金29億1453万8449円、嶺南地域振興促進基金5億3108万3206円と報告

若狭広域行政事務組合議会

議長 小幡 憲 仁

令和6年第1回

若狭広域行政事務組合定例会

◇3月25日(月)

若狭広域行政事務組合議会議場

出席議員：12名全員

■令和4年度 若狭広域行政事務組合歳入歳出決算認定

令和4年度若狭広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算額は、歳入総額69億6239万5714円、歳出総額67億455万9496円、翌年度繰越額1015万8千円差引後の実質収支額2億4767万8218円の黒字。

主要な施策の成果として、介護認定審査事務において、共同処理による認定基準の統一化、事務の効率化、人件費の削減などの成果があった。

広域ごみ処理施設整備は令和5年3月に完成し、供用開始後は円滑な運転を継続中。中継施設は実施設計、造成工事を行なった。(令和6年4月に供用開始)

【全員賛成で認定】



竣工した若狭広域サテライトセンター

【全員賛成で可決】

■令和5年度 若狭広域行政事務組合一般会計補正予算(第2号)
補正額は歳入・歳出に170万5千円を追加し、予算総額は歳入・歳出それぞれ6億2183万円。
介護認定システム制度改正による対応委託料を計上。

若狭消防組合議会

組合議員 井上 聡 美

第207回若狭消防組合議会臨時会

◇12月21日(木)

若狭消防組合議会議場

出席議員：14名全員

■令和5年度若狭消防組合一般会計補正予算(第2号)

高浜町の単独経費としては、小型動力ポンプ1台の購入事業額確定による減額である。(車両購入を含む)

予算額：190万円
減額：4万1千円
確定額：185万9千円

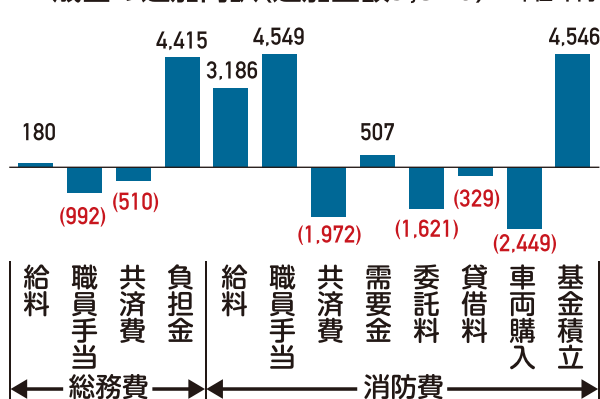
■若狭消防組合一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

■若狭消防組合会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について

人事院勧告および福井県人事委員会勧告に伴うものである。

【全員賛成で可決】

歳出の追加内訳(追加金額9,510) 単位:千円



一般会計補正予算

当初予算

14億2,773万2千円

補正予算(第1号)

+482万8千円

補正予算(第2号)

+951万円

補正後の予算

14億4,207万円

後期高齢者医療広域連合議会

代表議員 大塚ひとみ

令和6年第1回定例会

後期高齢者医療広域連合議会報告

◇2月20日(火)

福井県自治会館2階議場

出席議員：19名(4名欠席)

■令和5年度一般会計補正予算

補正額は歳入歳出に1億6261万7千円を減額し予算総額は、歳入歳出それぞれ5億1633万4千円。

■令和5年度特別会計補正予算

補正額は歳入歳出1億7038万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ1125億1292万5千円。

■令和6年度一般会計予算

予算総額は歳入歳出それぞれ6億1954万7千円。対前年度比2%減で分担金及び負担金の減によるもの。

■令和6年度特別会計予算

予算総額は歳入歳出それぞれ1154億9552万5千円。対前年度比4.9%増であり、主な理由は総務管理費で電算処理システム事業の新標

準システム導入・運用費用、保険給付費で被保険者数の増に伴う医療費給付費の増等によるもの。

【全員賛成で可決】

■会計年度任用職員の勤務条件、給与等に関する条例の一部改正について

■後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

【全員賛成で可決】

■専決処分の承認を求めることについて

会計任用職員の勤務条件、給与等に関する条例の一部改正について、人事院規則に伴い期末手当の支給率の変更と令和5年12月に支給する期末手当の特例措置を適用するもの。

【全員賛成で承認】





議会だより 表紙写真募集

町民に親しまれる「高浜町議会だより」の取り組みの一環として表紙写真を公募します。あなたの写真で、高浜町の魅力を伝えてみませんか？

応募資格

町内在住、または在勤・在学している方

応募要件

町内で撮影したもの（高浜町の四季折々の風景、イベントなど）※概ね1年以内で未発表のもの。写真は、5MBまでの画像データ（JPG、JPEG形式等）

応募先

議会事務局
gikai@town.takahama.fukui.jp



応募方法

1. 撮影者の氏名（掲載時に使用、ペンネーム可）
 2. 住所
 3. 電話番号
 4. 掲載希望月（4月、7月、10月、1月）
 5. 撮影年月
 6. 撮影場所（掲載時に使用）
 7. 撮影者のコメント（掲載時に使用）
- 上記1～7の項目をメール本文に記入し、写真データを添付の上、下記のメールアドレスまで送付してください。
件名は「議会だより表紙写真応募」としてください。

※応募者以外に被写体となっている人の承諾を必ず得てください。承諾を得ていなかった場合のクレーム・トラブルなどについては、一切の責任を負いかねます。なお、個人の所有物に関しても、同様とします。

※応募された写真は、無償で町議会が使用することに承諾したものとします。また、サイズ調整等のため加工を行うことがあります。

※選考は町議会広報特別委員会で行います。なお、審査内容についてはお答えできません。

編集後記

能登半島地震から4ヶ月あまりが経ちます。被災地域が1日でも早く復旧・復興することを祈り申し上げます。

3月2日に、若狭地方において、伝統行事であるお水送りが行われ、神宮寺から鵜の瀬まで松明行列が続きました。夜の寒い中での行事で、何年も前から観光客におもてなしとして大鍋（粕汁）を振る舞っており、久しぶりに材料きざみに参加してきました。奈良県東大寺二月堂でお水取りの行事が行われると、春がやってくると言われています。

3月16日には、金沢から敦賀まで北陸新幹線が開業しました。これからは観光客が増えてくるのではないのでしょうか。

広報特別委員会

委員長
副委員長
委員

河島 浩彦
井上 聡美
児玉 千明
廣瀬 とし子
井ノ元 康夫
磯部 武史

廣瀬 とし子